

豪雨被災地域観光需要回復送客促進事業

(2024年8月開始)

旅行会社用マニュアル

Ver.1(2024/8/16)

本マニュアルは随時アップデートを行います。
お読みになる前に最新版であるかご確認ください。

1. はじめに

本マニュアルは、「豪雨被災地域観光需要回復送客促進事業」実施要項(旅行会社用)(以下「実施要項」)に基づき作成するもので、「豪雨被災地域観光需要回復送客促進事業」の実施に必要な事項を定めるものです。

本事業の参加や実施に当たっては、本マニュアルをご確認いただき、不明点等がございましたら、豪雨被災地域送客促進事業事務局(以下「事務局」)までお問い合わせください。

～豪雨被災地域観光需要回復送客促進事業とは～

令和2年7月豪雨災害により甚大な被害を受けた球磨川流域12市町村及び津奈木町(以下「豪雨被災地域」)においては、宿泊者数がいまだに被災前の水準まで回復していません。そこで、豪雨被災地域への更なる送客を促進し、観光需要回復を後押しするため、豪雨被災地域を目的地とする観光バス等を組み込んだ旅行商品、タクシー費用やレンタカー費用に対し、助成をします。

～豪雨被災地域(対象地域)～

八代市、人吉市、芦北町、津奈木町、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町

2. 事業概要

(1) 助成内容

旅行会社が、豪雨被災地域を目的として造成する**観光バス、観光タクシー、レンタカーを組み込んだ旅行商品**に対し、助成(旅行会社へ助成)します。

※旅行会社とは、熊本県内外の旅行事業者(第1種旅行業、第2種旅行業、第3種旅行業、地域限定旅行業、旅行業者代理業、観光圏内限定旅行業者代理業のいずれかの登録等をしている者。)で、本事業に参加登録を行った事業者(以下「登録事業者」)です。

(2) 対象期間

令和6年8月23日(金)(出発日)～令和7年1月31日(金)(帰着日)まで

※対象期間にかかわらず、予算がなくなり次第、終了します。

※既存予約は原則助成対象外となります。

ただし、受注型企画旅行においては、最終確定書面の交付日が対象期間以降であって、旅行催行日が対象期間内であれば、助成対象とする。

(3)教育旅行の取扱い

本事業において、公費で支払われる教員等の出張については、助成対象外とします。

(4)利用回数制限

利用回数は制限はしませんが、登録事業者が計画的な販売等を行うために利用回数制限を設けることは問題ありません。

(5)他事業との併用について

本事業以外の事業(宿泊助成、交通機関への助成)との併用は可能です。

また、本事業において、観光バス、観光タクシー、レンタカーを組み合わせた場合の併用も可能です。

ただし、併用にあたっては、利用者(旅行者)の実質負担額が0円を下回らないことが条件で、他の事業との併用を行う場合は、事前に事務局に申し出て、併用の可否について確認を行ってください。

(6)助成の対象となる商品

- ・登録事業者が造成する企画旅行(受注型、募集型)、手配旅行のうち、事前に対象商品確認申請書(様式第4号)により申請し、事務局の審査を経て承認を受けたものを助成対象とします。商品販売する前に事務局にて商品のチェックを行いますので、行程表や見積書等の旅行内容がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・助成対象商品の販売にあたっては、本事業の対象であることを明示するとともに、①助成前後の価格、②助成金が助成対象商品の一部として、登録事業者に直接支払われること、③取消料は「助成前」の代金を算出基準とすることを明示してください。
- ・なお、本事業の対象であることを明示する際は、必ず正式名称「豪雨被災地域観光需要回復送客促進事業」を使用してください。

(7)登録決定通知書(様式第2号)について

- ・本事業への参加申込後、事務局で審査を行った後に、登録決定通知書(様式第2号)を事務局よりお送りいたします。通知後に参加登録決定となりますので、必ず通知日以降に、(6)の事務局の審査・承認を受けたうえで、対象商品の販売をお願いいたします。

・登録決定通知書には、参加申込書(様式第1号)でご記入いただいた希望額をもとに助成上限額(以下、「販売枠」)を各事業者ごとに割り当てを行い、金額を記載しておりますので、必ずご確認のうえ、販売枠を超えることがないように管理の徹底をお願いいたします。

事務局に許可なく販売枠を超過して販売した場合は、助成対象外となりますので、ご注意ください。

なお、販売枠が残りわずかとなった場合は、事務局までご相談ください。

(助成金原資の残額によっては追加ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。)

また、販売枠の執行状況の確認のために、事務局より経過報告の依頼を行うことがございますので、その際は速やかにご報告をお願いいたします。(日々の販売枠の管理をお願いします。)

3. 観光バスの費用に対する助成

(1) 助成要件

熊本県内外の旅行会社が豪雨被災地域を目的地として造成する観光バスを組み込んだ旅行商品に対して、旅行会社へ助成を行います。

宿泊旅行の場合は、豪雨被災地域内に宿泊することとし、日帰り旅行の場合は目的地を豪雨被災地域内とした旅行商品とすること。

※目的地：行程に組み込む目的地数は問いません。

ただし、トイレ休憩のためのみで立ち寄る場合は、目的地としてはみなしません。

(助成対象例)

- ① 出発(豪雨被災地域外)⇒豪雨被災地域内A町(宿泊)⇒帰着(宿泊旅行対象)
- ② 出発(豪雨被災地域外)⇒豪雨被災地域内B村(昼食)
⇒豪雨被災地域内C市(宿泊)⇒豪雨被災地域外(見学)⇒帰着(宿泊旅行対象)
- ③ 出発(豪雨被災地域外)⇒豪雨被災地域内D町(昼食)
⇒豪雨被災地域内E村(見学)⇒豪雨被災地域外(体験)⇒帰着(日帰り旅行対象)

(2) 助成金額

助成対象	助成上限額
大型バス・中型バス	(宿 泊) 1台当たり 7万円 (日帰り) 1台当たり 5万円
小型バス・マイクロバス	(宿 泊) 1台当たり 5万円 (日帰り) 1台当たり 3万円

※ただし、バス料金が助成上限額を下回る場合は、料金までを助成する。

例①：宿泊旅行で大型バス1台10万円の場合

宿泊旅行の助成上限額は7万円のため、助成金は7万円×1台＝7万円となります。

例②：日帰り旅行で中型バス2台8万円の場合(1台当たり4万円)の場合

日帰り旅行の助成上限額は5万円ですが、下回る場合は、利用料金までの助成のため、助成金は4万円×2台＝8万円となります。

3. 観光タクシーの費用に対する助成

(1) 助成要件

熊本県内外の旅行会社が造成する、豪雨被災地域内を周遊する観光タクシーを組み込んだ旅行商品に対して、旅行会社へ助成を行います。

豪雨被災地域内を周遊する観光タクシーが組み込まれた旅行商品とすること。

なお、観光タクシーとは、観光を目的とし、あらかじめ行程と料金が決まっているタクシーを言います。

また、周遊とは豪雨被災地域内の3カ所以上を目的地として行程に組み込むことを言います。ただし、トイレ休憩のためのみで立ち寄る場合は、目的地としてみなしません。

※観光タクシーについては、宿泊の有無は問いません。

(助成対象例)

- ①出発(豪雨被災地域外)⇒豪雨被災地域内F村(食事)
⇒豪雨被災地内G町⇒(見学)⇒豪雨被災地内H市(体験)⇒帰着
- ②出発(豪雨被災地域外)⇒豪雨被災地域外(体験)⇒豪雨被災地域内J村(食事)
豪雨被災地内K町⇒(見学)⇒豪雨被災地内L市(体験)⇒帰着
- ③出発(豪雨被災地域内)⇒豪雨被災地域内M村(食事)
⇒豪雨被災地内N町⇒(見学)⇒豪雨被災地内O市(体験)⇒帰着

(2) 助成金額

助成対象	助成上限額
タクシー	1台当たり 4千円

※ただし、タクシー料金が助成上限額を下回る場合は、料金までを助成する。

例：人吉周遊タクシープラン1台5,000円の場合

助成上限額は1台当たり4,000円のため、助成金は4,000円×1台＝4,000円となります。

3. レンタカーの費用に対する助成

(1) 助成要件

旅行会社が実績報告・助成金申請等の手続の管理を徹底する場合に限り、旅行商品に対して、旅行会社へ助成を行います。

豪雨被災地域内に宿泊することかつ、レンタカーの借上げ場所及び返却場所は、双方とも熊本県内又は鹿児島県内であることを条件とした旅行商品とすること。

※日帰り旅行は対象外です。

(助成対象例)

- ① 出発(豪雨被災地域外)⇒豪雨被災地域内P市(宿泊)⇒帰着
- ② 出発(豪雨被災地域外)⇒豪雨被災地域内Q村(昼食)
⇒豪雨被災地域内R町(宿泊)⇒豪雨被災地域内S村(見学)⇒帰着

(2) 助成金額

助成対象	助成上限額
レンタカー	(宿 泊) 1台当たり 4千円

※ただし、レンタカー料金が助成上限額を下回る場合は、料金額までを助成する。

例: レンタカープラン1台3,500円の場合

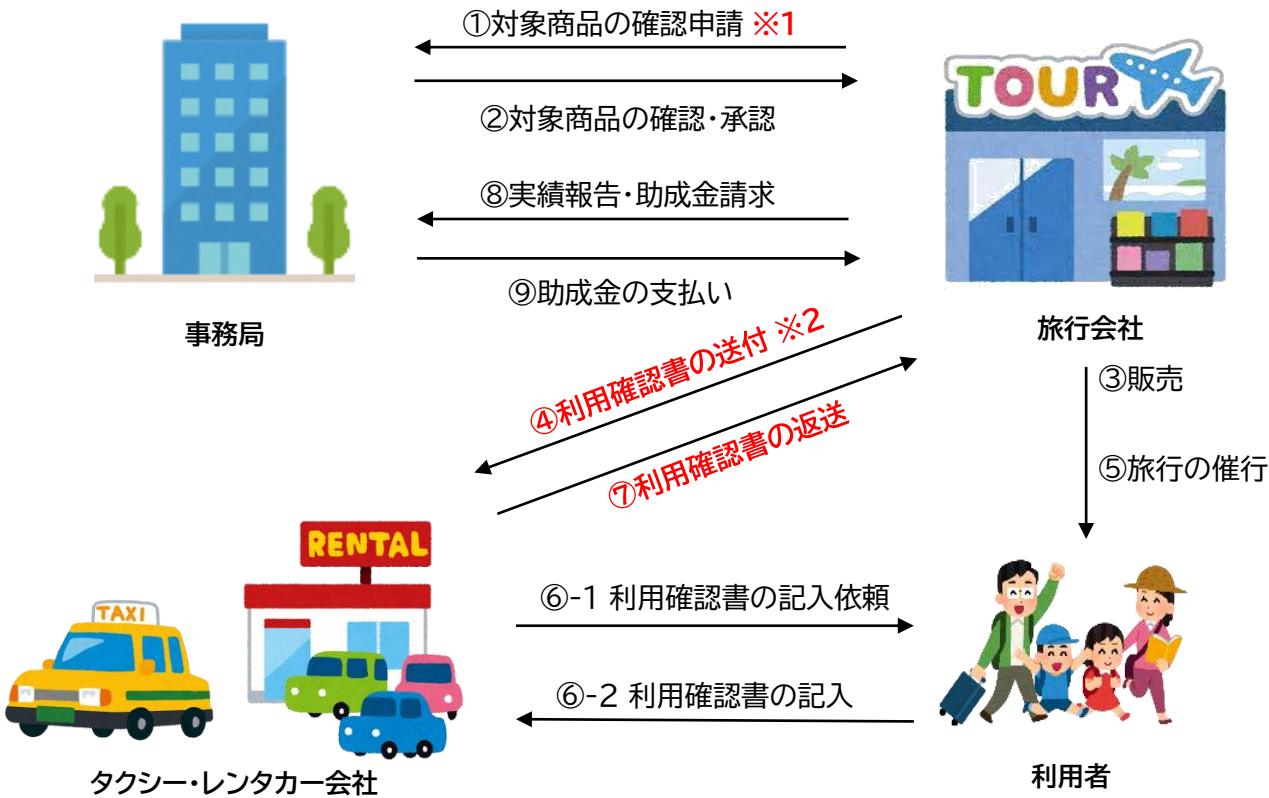
助成上限額は1台当たり4,000円ですが、下回る場合は、利用料金までの助成のため、助成金は3,500円×1台＝3,500円となります。

4. 助成金申請および実績報告の手続き

(1) 助成金申請者

本事業に参加登録をした旅行会社を対象となります。複数の事業所がある場合は、1つの事業所にまとめて参加申込、実績報告及び助成金の申請をお願いいたします。

(2) 事業フロー図



※1 対象商品を販売する前に、本事業の助成要件に合致しているかを確認するため、事務局にて事前に対象商品をチェックいたします。旅行内容がわかるものを添付のうえ、対象商品確認申請書(様式第4号)の提出をお願いいたします。

※2 観光タクシー／レンタカーを組み込んだ旅行商品の場合は、販売後、タクシー会社／レンタカー会社に対し、旅行会社名・予約番号等を記入した利用確認書(旅行会社用)(様式第7号)の送付をお願いいたします。なお、旅行の催行までに必着となるようご留意願います。

(3) 精算スケジュール

実績報告は2か月に1回実施する予定です。各スケジュール以下のとおりです。
また、実績報告に係る書類は電子メール・郵送で受け付けます。
提出先はP.9事務局までお願いいたします。

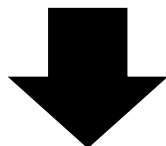
	対象期間	書類提出〆切日	助成金振込日
第1回	8月23日(金)～9月30日(月)	10月10日(木)	～10月31日(木)
第2回	10月1日(火)～11月30日(土)	12月10日(火)	～12月27日(金)
第3回	12月1日(日)～1月31日(金)	2月10日(月)	～2月28日(金)

月末にかかわる旅行は帰着日ベースで実績報告をお願いいたします。
例: 9/30(月)出発～10/1(火)帰着の場合、第2回で実績報告

(4)対象商品販売～実績報告・助成金請求に必要な書類

(対象商品の事前確認申請)

- ①対象商品確認申請書(様式第4号)
- ②旅行内容がわかる書類(行程表や見積書等)



催行後の実績報告

(実績報告・助成金請求)

- ①実績報告書(様式第5号)
- ②販売内訳書(様式第6号)
- ③**利用確認書(旅行会社用)(様式第7号)**
※観光タクシー／レンタカーを使用する場合のみ
- ④請求書(様式第8号)
- ⑤宿泊及び旅行実績が証明できる書類
 - 1. 利用者が宿泊したことを証する書類(宿泊証明書、宿泊確認書等)
 - 2. 利用者からの入金を確認できるもの(領収証、請求書等)
- ⑥旅行内容を確認できる書類(最終行程表、見積書等)
- ⑦貸切バスの利用を証明できる書類(運行引受書、運送申込書)

(5)利用者が宿泊したことを証する書類/ 利用者からの入金を確認できるもの(例)

①利用者が宿泊したことを証する書類

例:**領収証・請求書**・宿泊証明書・旅行会社発行の宿泊クーポンなど
(宿泊日・人数・旅行代金(宿泊プラン代金)・宿泊施設名等が記載されたもの)

②利用者からの入金を確認できるもの

例:**領収証・請求書**・仕訳帳・現金出納帳・総勘定元帳の写しなど
(お金の流れが分かり元値が確認できるもので、税込み、税抜き表記が無ければ明記)
※①と②を同一書類で確認できる場合は、**一つの書類**で可能です。

(6)不正請求の確認・対応等

申請内容の適切性を確認するため、書類の追加提出を求めるとともに、熊本県、熊本県観光連盟及び事務局が調査を行う可能性があります。

仮に不正受給が発覚した場合には、本事業の参加事業者登録の取り消しを行うとともに、捜査機関への通報対象とし、事業者名の公表、不正受給分の返還請求を行います。

(7)事業参加申込みについて

事業者説明会后、ご連絡いただいたメールアドレス宛に実施要項及び参加申込書(様式第1号)をお送りいたしますので、本事業へ参加希望の場合は、参加申込書(様式第1号)に必要な事項をご記入のうえ、以下必要書類と合わせて事務局までご提出をお願いいたします。

後日、販売枠を記載した登録決定通知書(様式第2号)をメールにてお送りいたします。

(8/22(木)を目途に通知を行います)

【必要書類】

- ・参加申込書(様式第1号)
- ・旅行業登録票の写し
- ・口座情報がわかる書類(通帳の写し、ネットバンキングの画面等)

【対象事業者】

熊本県内外の旅行事業者

(第1種旅行業、第2種旅行業、第3種旅行業、旅行代理店代理業、観光圏内限定旅行代理業のいずれかの登録等をしている事業者)

※旅行サービス手配業は除く。

【募集期間】

令和6年8月16日(金)～8月21日(水)まで

※申込状況によっては追加募集を行う場合があります。

(8)問い合わせ先

豪雨被災地域送客促進事業事務局

TEL:050-8887-8762

FAX:096-322-7453

mail:[kumamoto kennan@nta.co.jp](mailto:kumamoto_kennan@nta.co.jp)

※受付時間:10:00～16:00 (土日・祝日・年末年始は休業)

